

猛暑と長雨の影響が及ぶ

8月の業界WEATHER

全業種平均



前年同月比

概況

月前半の猛暑、後半の冷夏・長雨等による天候不順により、売上や出荷・工期に影響が出ている。また、新卒を含む人材確保に苦慮している業界が多く、今後の採用動向を注視している様子である。

製造業	食料品		パン・菓子ともに月前半の猛暑の影響により売上が減少している。製麺はお中元商戦の商品多様化から素麺を中心とした乾麺は苦戦している、生麺は大手の寡占化が一層強まっている。酒造は例年並みに推移だが本醸造酒がやや苦戦している。
	繊維・同製品		婦人服地は例年より低調に推移している。伊勢崎織物はホームセンター等から工芸品の展示・販売の話があり、伊勢崎緋の出品が内定するなど今後に期待している。繊維製品は多品種少量生産で、採算確保に苦慮している。
	窯業・土石製品		生コンは官民需物件とも減少し厳しさが続いている。コンクリートブロックは猛暑と長雨の極端な気象変化により工事が進まず出荷状況が悪化している。砕石は全体の景況感は例年並みに推移しているが、沼田・吾妻地域では悪化している。
	機械・金属		富士重工等の大企業は高収益環境が続いているが、依然として続く厳しい短納期やコストダウン要請により、下請けメーカーの利益率は極めて低い状況である。また、円安や賃金上昇による生産コストの増加を懸念している。
	その他の製造業		製材は荷動きが出てきたが、原材料の減少と単価上昇で収益性は悪い。印刷は需要減少の中、赤字受注もみられ、企業間格差がますます広がっている。紙加工品は大手や近県業者との競争激化で販売価格は下落傾向である。
非製造業	卸売業		卸団地は大企業の採用枠拡大や選考時期の遅れにより新卒の人材確保に苦慮、今後の行方を注視している。農産物卸は月後半より急激に天候が悪化、日照不足によりナス・トマト等の夏野菜の出荷量が激減し、価格が高騰している。
	小売業		燃料小売価格は値下がりが続き、仕入・販売ともに前月比7~8円/ℓ下落している。生花はお盆商戦は菊類をはじめ洋花類も品薄超高値という異常な市況に苦戦している。商店街は猛暑とその後の長雨等の天候不順により来街者数が減少している。
	サービス業		伊香保温泉はお盆を挟んで前後も好調である。一方、草津は宿泊人数が前年比やや減少している。不動産取引は建売分譲が減少し、土地販売も低迷、土地価格の下落が続いている。前橋の賃貸居住用物件はケヤキウォーク周辺が人気で供給不足である。
	建設業		電気工事は連日の猛暑により冷房関係の受注が増加も、人手不足が継続しており、やり繰りに苦慮している。塗装工事は学校や県営住宅の改修が動き出したが、一般住宅の改修等が少ないため、受注量に企業間格差がみられる。
	運輸業		野菜はキャベツ等が天候不順で前年比7割程に減少している。一部荷主から値下げ要請があるが、人材確保による経費増で値下げできる状況にない。小口輸送は医薬品輸送が7月より新規に始まり、売上高・件数ともに増加している。

※本調査は、情報連絡員56人が所属する組合の全体的な景況（前年同月比）です。

県内の主な経済指標

- 鉱工業生産指数(季節調整値) 120.1(前月比+5.4%)「県統計課・7月」
- 販売電力量 12,0613万KWh(前年同月比▲5.1%)「東電群馬総支社・7月」
- 住宅着工戸数 1,128戸(前年同月比+9.6%)「県建築住宅課・7月」

- 求人倍率(季節調整値) 新規1.87倍:有効1.33倍「群馬労働局・7月」
 - 大型小売店販売額 201億円(前年同月比+5.0%)「経済産業省・7月」
 - 消費者物価指数(全国) 103.7(前年同月比+0.2%)「総務省統計局・7月」
- (鉱工業生産指数・消費者物価指数は22年=100とした指数)